

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和6年度事業点検・評価調査

4-IV-14

4-IV-14

章 節	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備 IV.ホスピタリティの醸成	取組項目	公共交通機関内での対応の充実
事業(施策)名	14 佐渡汽船における来訪者PRの取組強化	事業主体	佐渡汽船(株)
事業実施期間	H28～R6	関連団体	県観光企画課、新潟市観光振興課、長岡市観光企画課、上越市魅力創造課、佐渡市交通政策課、佐渡市観光振興課、県観光協会、佐渡観光交流機構
事業概要	【事業目的】 ○ 佐渡航路船内等で、佐渡の文化や歴史を紹介するなど、佐渡への期待感を高める。 【事業内容】 ○ 佐渡汽船乗船港待合室や航路船内等で、佐渡への期待感を高めるための広報・PR活動を行う。 【本計画終了時点のゴール】 ○ 船内でのDVD放映、ターミナル待合室での幟やポスター掲出の他、R3年に聴講した専門家による佐渡金銀山の講座で得られた遺産関連知識を活かし、来訪者(乗船客)への案内、質問へのスムーズな回答が可能となる受入体制の構築		
これまでの取組実績	【R4年度取組実績】 ○ 船内DVDは継続して放映した。 ○ 世界遺産推薦決定幟も同様に継続して掲出した。 【R5年度実績】 ○ 船内DVDは継続して放映した。 ○ 世界遺産推薦決定幟も同様に継続して掲出した。		
事業計画と実績	【R6年度計画】 ● ジェットfoil船内での佐渡観光や歴史等の映像を継続して放映する。 ● 各ターミナル内の各種POPを継続して掲出する。 【R6年度実績】 ● 船内映像は継続して放映した。 ● 各ターミナル内での各種POPは世界遺産関連POPの継続掲出の他、新規依頼時にも可能な限り掲出を行った。		
事業評価	【ゴールに対する計画終了時の達成度】 [A・<u>B</u>・C] ◇ 概ね継続的にプロモーションを実施し、加えて新規プロモーションの依頼についても可能な限り対応している。		
課題	■ 効果的なプロモーションについて、各港待合室、船内掲示物等の掲出方法に課題がある。		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。